

別紙

日本大昭和板紙株式会社大竹工場温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日本大昭和板紙株式会社大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番18号

(3) 業種

1422 板紙製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21（2009）年度を基準年度とし、平成23（2011）年度から平成27（2015）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成21年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成27年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	1,311	1.245 5.0	1.203 8.2				
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素	0.2028	0.1926 5.0	0.1900 6.3				
フロン類							
温室効果ガス総排出量	1.514	1.438 5.0	1.393 8.0				
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	393.8	374.1 5.0	357.4 9.2				
実績に対する自己評価	計画対象としている全ての温室効果ガスの種類及び項目について、原単位ベース年1%の削減率を達成できた。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・石炭の原単位を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・黒液の有効利用 ・廃熱の有効利用 ・新エネルギーボイラーの利用促進 ・発電所の効率的運転 ・操業改善による省エネルギー
2	電気使用量の削減	・電気の原単位を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ、ファンへのインバータ導入 ・回転数見直し等による省エネルギー ・高効率設備導入による省エネルギー ・高効率照明設備導入による省エネルギー ・休憩時間の消灯の徹底
3	メタン及び一酸化二窒素排出量の削減	・一酸化二窒素排出量原単位を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・黒液の有効利用 ・廃熱の有効利用 ・新エネルギーボイラーの利用促進 ・操業改善による省エネルギー

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物排出量の削減	・最終処分量0.1kg/製品t以下	<ul style="list-style-type: none"> ・苛性化廃石灰の排出削減 ・産廃有効利用促進（セメント原料化、焼却・熔融処理） ・廃プラ類の分別管理徹底
	リサイクル率の向上	・古紙利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・板紙抄造における古紙利用の促進 ・古紙回収の促進
	その他		

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。